

第18回 重要文化財名古屋市東山植物園温室前館の保存及び活用に関する検討委員会の開催結果

東山植物園温室前館は、国内に現存する最古の本格的な鉄骨造温室建築である点などが評価され、平成18年に国の重要文化財の指定を受けています。温室前館を今後とも重要文化財として保存・活用していくことを目的に、平成21年度から保存修理工事の完了まで有識者による検討委員会を設置し、温室の修理方針や修理計画・展示計画などについて検討を進めています。今回、第18回の会議を開催しました。

【日時】 令和元年11月29日（金曜日）午後2時00分から4時00分

【場所】 東山動植物園 植物会館

【出席者】 (1) 検討委員会委員：6名

瀬口哲夫氏(会長) 名古屋市立大学名誉教授

小野徹郎氏(副会長) 名古屋工業大学名誉教授

飯田喜四郎氏 名古屋大学名誉教授

是澤紀子氏 日本女子大学家政学部住居学科准教授

溝口正人氏 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科教授

本間和枝氏 公益財団法人宇治市公園公社顧問、元宇治市植物公園園長

(2) 国、県、市及び関係機関出席者：16名

(3) 報道関係者：0名

【傍聴人】 0名

【会議内容】

○議題1. 保存修理工事の進捗状況について

○議題2. 岩組復原の実施設計（案）について

○議題3. 温室内の展示活用実施設計（案）について

○議題4. 出入口のバリアフリー化について

○議題1. 保存修理工事の進捗状況について

事務局より、保存修理工事の進捗に関して説明するとともに、現地にて視察を行いました。

○議題2. 岩組復原の実施設計（案）について

事務局より、岩組復原の実施設計（案）について説明し、了承を得ました。

○議題3. 温室内の展示活用実施設計（案）について

事務局より、温室内の展示活用実施設計（案）について説明し、次の意見を頂戴しました。

- ・サインや仕上げ材等の具体のデザインを決定について課題がある。ひとつの空間としてどのように調和させていくかを考え、デザインを修正してほしい。

○議題4. 出入口のバリアフリー計画について

事務局より、出入口のバリアフリー計画について説明し、基本的な考え方について了承を得ました。また、次の意見を頂戴しました。

- ・スロープを設置する頻度を踏まえ、その構造やデザインを改めて提示してほしい。
- ・スロープを設置しない階段への手すりの設置についても検討してほしい。